

重点プロジェクト評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名 [1] 企画政策課長 柴原洋

施策名 [3]		施策の目標 [8]		主管課(関係課) [2]		
ふれあいサポートプロジェクト		コミュニティの醸成と互助・共助のしくみをつくります。		企画政策課(危機管理室、生活福祉課、高齢者支援課、児童青少年課、子ども家庭支援センター、協働コミュニティ課)		
概要	施策のコンセプト [33]	評価の視点 [34]		説明		
	「みんなで支えあうまち」を目指して、市民一人ひとりが協力しあって、安心して暮らせる社会をつくります。	ふれあいのまちづくり事業への支援	・小学校区を拠点とした、ふれあいのまちづくり事業を支援していきます。			
		安心・安全のためのしくみづくり	・地域の中で安心・安全に暮らすことができるよう、防災や防犯のための自主的な市民組織づくりを推進します。			
		困りごとなどへのサポートのしくみづくり	・子育て、ボランティアなどサポートのしくみを確立します。 ・ファミリー・サポート・センターなどのしくみを活用します。			
		市民意識調査(市民意見)の満足度・重要度の領域	・「ボランティアの育成など地域福祉の推進」「市民主体のコミュニティ活動の支援」を本プロジェクトの市民意識調査(市民意見)の領域とします。			
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化) [9]					
・国が開催した「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」の報告書(平成20年3月)において、地域住民のつながりを再構築し、地域社会において支え合う体制を構築するための方策が示されました。						

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標 [12]	指標 1	事業名	小地域での総合的地域ケアシステムの整備	指標名	ふれあいのまちづくり事業懇談会延参加者数	実績値	16,345人	16,329人	13,154人		
		説明	社会福祉協議会に委託して小学校区を拠点とした、福祉・介護に関するふれあいのまちづくり事業を展開し、多くの市民の参加を推進します。これらの参加を通じて、市民自らによる介護・福祉のまちづくりを進めます。								
	指標 2	事業名	地域福祉活動拠点の整備	指標名	地区拠点整備数	実績値	3箇所	4箇所	4箇所		
		説明	社会福祉協議会に委託して小学校区を拠点とした、福祉・介護に関するふれあいのまちづくり事業を展開するために、地区ごとの活動拠点を整備することを目指しています。								
	指標 3	事業名	ファミリー・サポート・センターの運営	指標名	ファミリー・サポート・ファミリー会員数 ファミリー・サポート・サポート会員数	実績値	1,072件 150件	1,292件 171件	1,388件 198件		
		説明	地域の子育てと仕事と介護の両立を支援するファミリーサポートセンターの運営を通じて、地域において育児や介護の援助を受けたい人で行いたい人の連携を促進します。また、これらの活動を通じて、地域全体での育児・介護基盤が整備されます。								
	指標 4	事業名	自主防災組織活動への支援	指標名	防災市民組織の登録団体数(再掲安2-1)	実績値	71団体	74団体	74団体		
		説明	防災市民組織が組織されることによって、市民が自主的に地域での防災活動を行うようになります。また、防災組織での活動を通じて、防災意識が高まり、地域で助けあう防災基盤が整備されます。								
	指標 5	事業名	安心安全なまちづくりの推進	指標名	防犯活動団体の登録団体数	実績値	31団体	36団体	37団体		
		説明	地域での防犯団体の登録数を増やすことで、地域内における安心安全なまちづくりが展開されます。また、防犯団体の活動を通じて、防犯意識が高まり、地域での防犯基盤が整備されます。								

【市民意見】 [13]

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	16.3%	満足度(%)	16.8%	満足度(%)	
満足度(平均ポイント)	-0.07	満足度(平均ポイント)	-0.07	満足度(平均ポイント)	
重要度(%)	66.0%	重要度(%)	65.4%	重要度(%)	
重要度(平均ポイント)	0.83	重要度(平均ポイント)	0.81	重要度(平均ポイント)	

各年次の市民意識調査で、本プロジェクトの市民意識調査の領域の「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況 [14]	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度 [15]	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等) [16]		<p>・「ふれあいのまちづくり事業への支援」については、小学校区ごとの地域福祉に係る様々な活動に対して社会福祉協議会を通じて支援してきましたが、活動をしている方々の固定化や高齢化などの課題があります。また、活動拠点の整備に関しては、現在4箇所のみ止まっており、市内全域には整備が進んでいない状況です。</p> <p>・「安全・安心のためのしくみづくり」については、防災市民組織や防犯市民組織を支援することで、安全に対する市民意識の高揚を図っていますが、組織数が伸び悩んでいる状況です。また、地域で高齢者を見守るささえあいネットワークにおいては、協力員の数が増加傾向にあるにもかかわらず、見守りを必要とする側の申請件数が少ないことが課題となっています。</p> <p>・「困りごとなどへのサポートのしくみづくり」については、ファミリー・サポート・センターにより身近な地域での育児の相互援助活動を促進するとともに、平成21年度までの病後児保育に加えて平成22年度からは病児保育事業を実施し、子育てと就労の両立を支援しています。また、ボランティア・市民活動支援センターの運営により、市民のボランティア活動への理解と参加を広めています。</p>		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化 [17]	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度 [18]	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら) [19]		<p>・「ふれあいのまちづくり事業への支援」については、活動のさらなる活性化を図るとともに、同事業と同一区域を基礎的な活動単位とする地域の支え合いの仕組み「ほっとするまちネットワークシステム」を試行実施し、地域の課題解決力向上に向けて検討を進めていきます。また、空き店舗や空き家など地域福祉活動の拠点として活用できる場の発掘に努めるとともに、所有者や経営者などの申し出や協力の承諾があった場合の福祉的活用のしくみを検討します。</p> <p>・「安全・安心のためのしくみづくり」については、今年度を実施する自治会調査により地域コミュニティの現状や活動状況を把握し、今後の防災市民組織・防犯市民組織の活性化に活かしていきます。また、一人暮らし等の見守りを必要とする高齢者に対して、ささえあいネットワークの周知に努めます。</p> <p>・「困りごとなどへのサポートのしくみづくり」については、ファミリー・サポート・センターや病児・病後児保育事業をより多くの市民に周知し、より使いやすい制度にするための検討を行っていきます。また、ボランティア・市民活動支援センターについては、市民協働推進センターとの機能分担を踏まえつつ、効果的な連携のあり方についても研究していきます。</p>		
総合評価	施策内容の方向性 [20]	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性 [21]	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針 [22]	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明 [23]	なし
---------	----

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性 [20]	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性 [21]	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等 [24]	<p>市民意識調査では、現状に対する満足度はほぼ中位となっており、将来における重要度は相対的に低いという評価を得ています。</p> <p>しかし、高齢化がますます進展する中で、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくためには、行政によるサポートだけでなく、地域のコミュニティにおける互助・共助の仕組みを充実させていくことが不可欠であることから、施策の内容・実施コストともに、現状の計画水準を当面維持することを原則としつつ、必要に応じてコミュニティの連帯や機能の向上を図るための支援を強化することが妥当と判断しました。</p>
施策実施方針 [22]	必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域	